



**この夏、秋田で実践する「超おもしろい合宿」企画に賞金 50 万円
秋田美大主催「高校生クリエイティブキャンプ」に、美術家・山城大督や探検家・高橋大輔らが協力**

秋田公立美術大学(秋田市、学長:霜鳥秋則)とNPO 法人アーツセンターあきた(秋田市、理事長:藤浩志)は、日本全国の高校生を対象に、この夏、秋田をフィールドに実施する「超おもしろい合宿」企画を公募する「高校生クリエイティブキャンプ 2019」を開催します。

昨年に続き、開催 2 回目となる本企画。秋田のまちを楽しみ、秋田の地域・文化資源を活用する高校生によるユニークな合宿プランを日本全国から募集し、書類審査で選出された 3 団体には、合宿に要する経費として 20 万円を支援します。3 団体は、ホストアーティストとなる山城大督(美術家/映像作家)のサポートを得て、合宿プランのブラッシュアップを重ね、7 月 1 日~8 月 18 日の期間中に、提案にもとづく合宿を秋田で開催します。合宿の内容や成果を、芹沢高志(P3 art and environment 統括ディレクター)、高橋大輔(探検家)、高嶺格(美術家/秋田公立美術大学教授)で構成される審査員が審査し、グランプリ1団体を決定。グランプリに選ばれた団体には、賞金 30 万円と山城氏によるオリジナル・トロフィーを謹呈します。

高校生ならではの視点で、秋田の地域・文化資源を活かし、合宿を通じて日頃の活動を深めること、類をみない新しい活動を生み出すこと、「超おもしろい」を迫及する企画です。日本全国の高校生にご応募いただきたく、是非貴紙に募集情報のご掲載をいただければ幸いです。

事業概要

高校生クリエイティブキャンプ (http://u18cc.jp)

- [対象] 高等学校に所属する人で構成されたグループ
- [スケジュール] 公募期間: 4 月~5 月 24 日
書類審査: 6 月中旬
合宿期間: 7 月 1 日~8 月 18 日 (7 月 26 日~27 日に交流会・発表会を開催)
最終審査: 9 月中旬
- [主催] 秋田公立美術大学/NPO 法人アーツセンターあきた
- [協賛] 東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社
- [後援] 文部科学省/秋田県/秋田県教育委員会/秋田市/秋田市教育委員会



審査員



芹沢高志
P3 arts and environment
統括ディレクター



高橋大輔
探検家



高嶺格
美術家
秋田公立美術大学教授



山城大督
美術家/映像作家

【NPO 法人アーツセンターあきたについて】

アーツセンターあきたは、秋田公立美術大学が設置した NPO 法人です。大学と地域をつなぎ、アートとデザインを用いたプロジェクトに取り組むことで、まちに驚きと発見を生み出します。

NPO 法人アーツセンターあきた (担当: 岩根、齊藤)

[TEL] 018-888-8137 [E-mail] info@artscenter-akita.jp [WEB] www.artscenter-akita.jp



高校生クリエイティブキャンプ 2019 募集要項

高校生クリエイティブキャンプは、全国の高校生を対象に、秋田で「超おもしろい合宿」企画を募集する事業です。書類審査で選ばれた3団体に合宿補助費を支給し、秋田への合宿にご招待！実際に秋田に来て合宿を行い、後日合宿の成果を3分間のプレゼンテーションにまとめて提出していただきます。その内容をもとに審査員がグランプリを決定し、賞金とトロフィーを授与します。

合宿日程	2019年7月26日～27日を含む前後の期間 ※7月1日～8月18日の期間中に合宿日程を設定すること。
場所	秋田県内
対象	高等学校に所属する人で構成されたグループ ※高等学校は、定時制高校・高等専門学校・通信制高校・特別支援学校(高等部)などを含みます。
賞金	最大50万円(補助費:20万円/団体、グランプリ:30万円)
応募条件	<ul style="list-style-type: none"> ・7月26日の交流プログラム及び7月27日の高校生プレゼンテーションに参加できること ・引率者(計画を遂行し高校生の安全確保を行う監督責任を担える方)が同行できること ・合宿中の様子・報告資料をウェブやSNS上で公開することに同意すること ・高校の部活・研究会など、活動実績のあるグループ ・グループは3名以上で構成されていること ・補助費を超える費用(旅費・宿泊・活動費など合宿にかかる費用)は各自団体が賄うこと ※但し、7月26日～27日の宿泊費及び場所の手配は、事務局が行います。
スケジュール	公募期間 4月～5月24日(5月24日 17:00 締切 ※当日消印有効) 書類審査 6月中旬(→3団体を選定し、補助費20万円を各団体に支給) 合宿期間 7月1日～8月19日 7月26日 交流プログラム(山城大督プロデュースの交流会を予定) 7月27日 高校生プレゼンテーション 最終審査 9月中旬 授賞式 10月
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿内容が類を見ない新しい活動であるか ・合宿を通じて学びや発見が期待できるか ・秋田を楽しんでいるか、魅力の掘り起こしがされているか
応募方法	郵送またはメールにて、5月24日(金)17:00(当日消印有効)までに、応募書類(応募用紙、企画書)をお送りください。 [宛先]NPO 法人アーツセンターあきた 〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 アトリエももさだ内 TEL: 018-888-8137 FAX: 018-888-8147 E-mail: info@u18cc.jp

審査員プロフィール

芹沢高志 (P3 art and environment 統括ディレクター)

1951年、東京生まれ。生態学的地域計画の研究に従事したあと、1989年、P3 art and environment を設立。以後、現代美術、環境計画を中心に、数多くのプロジェクトを展開する。さいたまトリエンナーレ 2016 ディレクター。デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長。秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科客員教授。

高橋大輔 (探検家)

1966年秋田市生まれ。「物語を旅する」をテーマに世界各地に伝わる神話、伝説などの伝承地にフィクションとノン・フィクションの接点を求めて旅を重ねる。2005年ナショナル ジオグラフィック協会(米国)から支援を受けた国際探検隊を率い、実在したロビンソン・クルーソーの住居跡を発見。著書に『ロビンソン・クルーソーを探して』(新潮社)『浦島太郎はどこへ行ったのか』(新潮社)など。

高嶺格 (美術家/秋田公立美術大学教授)

1968年鹿児島県生まれ。1993年から4年間にわたって「ダムタイプ」のパフォーマーとして活動。身体障害者とのコミュニケーションと性を題材とした映像作品《木村さん》(1998)、自身の恋人との関係を起点に、在日韓国人をめぐる差別的な感情の問題にふれた《在日の恋人》(2003)など、現代社会に潜む諸問題をテーマとしたパフォーマンス、映像、インスタレーションなどの多様な表現を展開している。

山城大督 (美術家/映像作家)

1983年大阪府生まれ。映像の時間概念を空間やプロジェクトへ応用し、その場でしか体験できない《時間》を作品として展開する。2006年よりアーティスト・コレクティブ「Nadegata Instant Party」を結成し、市民参加型プロジェクトを全国各地の美術館、芸術祭で発表。インスタレーション作品《VIDERE DECK / イデア・デッキ》が第18回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。主な展覧会に森美術館「六本木クロッシング 2016 展:僕の身体、あなたの声」。京都造形芸術大学客員教授。